



Discover a New  
World of Service

見つけよう  
奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 50 名 出席率 67.57 % 前回出席率 70.27 % 修正出席 64 名 確定出席率 86.49 %

### 四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

### 会 長 報 告

川村徳男君

1. 19日の春の家族会は、初めての方が大部分だったようですが、松山も、土門記念館もすばらしかったし、三瀬の坂本屋も大へん結構で、ご参加の皆さんに喜んで頂けたようです。松嶺では、私としましては30年ぶりに佐々木喆山和尚の88才のお元気なお姿にお目にかかり、しっかりしたお話ぶりに感激しました。宝蔵寺さんではお茶とまんじゅうのおもてなしをいただくなど、佐々木さんには大へんお世話になり、また、松山町の助役さんには終始町内をご案内いただき感謝申し上げます。なお、元会員の阿部譲さんのお墓もおがんで参りましたことをご報告いたします。幸い暑からず寒からず、天候に恵まれたことも企画が良いことのあらわれで、担当の親睦活動委員会の皆様から御礼を申し上げます。
2. 先日、リンゼ・ブラウンさんがおいでになったときに、実は、ストーウェルR.C.の会長さんからメッセージを預ってきたのだそうですが、それを出し忘れて、帰りの山形空港で張さんに渡されたということでした。原文を掲載いたします。

The President,  
Rotary Club of Tsuruoka,

Dear Sir,

On the occasion of the

visit to your Club of Past President Lindsay Brown, I extend to you and the Members of your Club greetings and best wishes from myself and the members of the Rotary Club of Stawell.

Yours sincerely

Vern Nielsen  
PRESIDENT

3. 地区ガバナーからユニバーシアード神戸大会に対する特別寄付金の報告を兼ねて協力の礼状が参っております。地区全体で4月末現在 817,057 円ということです。
4. 交換学生の受入れを新穂さんと小池さん、私の3人で鶴岡南高校に参ってお願ひしておりましたところ、佐藤校長ほか先生方の大英断をもって受け入れて頂くことに決定しました。学生は英領のパミュダから来るジュリー・エリザベスという18才の女の子です。実際に来るのは8月下旬のようですが、第一段階の難問題が決まり、ほっとしました。今後、ホストファミリー、その他よろしくお願ひ申し上げます。
5. 鶴岡建設株式会社さんから本社社屋の移転と、19日から営業開始の挨拶状を頂いております。場所はNTT鶴岡電報電話局の向いの角です。社業のご発展をお喜び申し上げ、今後一層のご繁栄をお祈り申し上げます。

庄内空港の建設を推進しましょう

## 6. 次の例会までの行事

### (1) ロータリー関係

本日午後6時から吉川屋で、外部のカウンセラーの先生方を交えて、教育110番の反省並びに懇談の会を催します。関係の方々よろしくお願い致します。

26日はインター・アクトの庄内ブロック研修会が温海で行なわれます。

25日から29日までは、R・Iの国際大会がミズリー州カンザス・シティで行なわれます。

### (2) 一般の行事

25日(土)は天神祭ですが、天気がよいのではないのでしょうか。

## ゲストスピーチ

## 最近の少年問題について



今の中学校、高校生達は万引といったものについてどういう考えをもっているのかを申し上げ、色々な面で参考にしてもらいたいと考えます。

今日の新聞を見ますと、いづれも山形県警で発表した「いじめ」の問題が取り上げられております。少年相談実施基準を県警で作りまして、「いじめ」の問題について対応しようとしております。今、鶴岡警察署に「いじめ」の相談がきているのは一件しかありません。これは仙台から鶴岡に転校になった小学校一年生の女の子に関する問題であります。特に大きく取り上げる問題ではありませんが、鶴岡にも「いじめ」の問題が若干あるが、今のところ悪い方向ではないと思います。

特に少年問題を取り上げたのは、21世紀の日本を背負う少年の問題は国家的にも社会的にも大きな問題であります。少年問題はなんといっても少年自身の問題であります。家庭・社会・環境、この三つの問題がからみあい、増幅しあい、協合しあい、その結果非行に走るという結果になっております。

具体的に例を上げて申し上げます。

私が鶴岡に来て一ヶ月位のとき、四月下旬、市内の商店2ヶ所で万引事件が発生しました。この2件

## 幹事報告

迎田 稔君

### ○例会時間、場所変更のお知らせ

余目R.C. 5月24日の例会  
新会員歓迎例会のため同日午後6時30分点鐘 余目商工会館

立川R.C. 5月23日の例会  
5月25日午後6時点鐘  
ホテル雷屋 一泊

遊佐R.C. 5月28日の例会  
竹の子例会のため同日午後6時点鐘 遊佐商工会

### ○回覧→遊佐R.C.会報

## 鶴岡警察署長 齋藤 忠二氏

はいづれも女子中学生です。学校も違う、グループも違う、たまたま偶然同じような少年万引ということで関心をもったのですが、女子中学生が万引したものは化粧品と下着類であります。若干の化粧品、ほとんどが下着類で、しかもパンティでありました。補導官がなぜこんなものを盗むんだと聞いたところが、結論は修学旅行の夜、特に風呂場での脱衣場では女子中学生の下着ショーみたいなもので、カラフルな下着でパンティをつけるのがもっとも開放感にあふれる修学旅行の行事だということがわかりまして、びっくりしたわけです。私共の修学旅行はそんなことはなかったのです。いまの中学生の修学旅行はそういう下着を見せ合うということが流行になっていることがわかりました。なんといってもいまの中学生の旅行は制服です。画一的な制服を着ている。もっとも自由奔放なものは下着類、とくにパンティあたりはもっとも各人の注目を引きつけるのが下着だといい、下着類を万引したということがわかりましたので、早速各学校に連絡、5月というのは修学旅行の多い時期であり、修学旅行の用品を買うときは少なくとも親が同伴してもらいたいと中学校に連絡いたし、お願いを致したところでした。その後はパンティを万引するということがなくなりました。このような結果となっております。

その後大体2日に一ぺん万引が発生しており、月に15~20件発生しております。そういった万引事件

でどういものが盗まれるかといいますと、女子の場合化粧品、下着類、洋服物、小物こういったものがほとんどで、その対象になっております。男子の場合はドライバー、スポーツ用品、カセット類こういったものが万引の対象になっております。このように万引を平気で万引をやるのか、いろいろの要素があるが、品物はいっぱいあるんじゃないか、ひとつぐらい盗んでもわからない、ひとつぐらいかんべんしてもらえると、安易な気持、それから個人のものでなくて会社のもので、個人のもを盗むんじゃない、大会社のもをもらっていったってたいしたことはないという安易な気持から万引行為をしている。びっくりするのは中学校、高校でも今度はおそこの店に行ったらあれを盗んでこい、これを万引してこいと、万引してから、おれはこれを持っている、これと交換しよう。こういったことを学校の教室で行われているので、学校が泥棒市のようになっているところもあったようです。万引についてはいまの子ども達がどういふうに考えて、どういふう見方をしているのかなどについて、うちの補導官に万引をした子ども達に万引をしたときにどのような弁解をするのか、その弁解の理由を聞いたところ4つに分けられるようです。

その1は、万引する少年少女はお金をもっていないのか、お金は持っている。なぜお金を出して物を買わないのか。お金はもったいないので有効に使うのだ。万引でうめあわせ出来るものは万引でうめあわせをする。私はもっとお金を有効に使いたいのだと弁解する。

2. 万引位はという意識をもっている。

中学・高校生生徒もお互いに万引しても、又、品物を見ても許容しあっているというのが現状であります。こういう意識が共通の意識として、今の中学校、高校生にあることをご承知おきを願いたいと思います。

3. 万引はおれだけでなく皆んながやっている。

赤信号も皆んなで渡ればこわくないという集団的心理が深く浸透している。

4. 罪の意識が薄い、罪悪感がない。

こういったことが万引する少年少女に共通している。

このような弁解のようです。結局はこうなりますとなんといっても道徳感、倫理感が問題になるのですが、私達が少年少女に万引はよいのか悪いのかと聞きますと、万引は悪いことではっきりいいます。

ず。どうして悪いのか、泥棒だから悪い。泥棒はなぜ悪いのかについては答えることができない。このへんにひとつの家庭の問題、学校での問題があるのではないのか。人のものを盗む、他人の財物と自分の財物についての考え方がはっきりしてない。

結論から申し上げますと、善悪、他人のもの、自分のものの「けじめ」区別がつかない。他人のもの自分のものに対する安易な気持ちがある。今の子どもはスリル感といったもので万引をする。人のもの自分のものをはっきりわかるよう区別、良いこと悪いことを区分してけじめのわかるような指導をお願いしたいと思います。

今の子ども達は自己中心的な意識が強い。自分中心に何んでもかんでも自分中心に判断している。そのことに心配なのは人の痛みがわからない。あんたがものを盗まれたらどうなるのか、どんな気持ちになるのか、あんたが反対になったらどうなるのか、思いやりの気持ちがない、痛みをわけあう思いやりの気持ちがない、自己中心的な考え方が非常に強く主張されているのではないのか。このように感じているところです。

今の小中学生は、このように問題行動を起しますが、今年に入ってから大巾に万引件数も減っております。これからは社会も、学校も、家庭も監視を強くして「けじめ」をはっきりつけられる子どもにしてゆく方向づけをしていこうとしています。

私共のところでは婦人補導官3人が少年少女のよい相談相手になっております。おもに少年事件については婦人補導官が対応しております。親に相談出来ないことを補導官に相談されるのではなく、親に相談出来るような方向づけをしなければならないのではないのか。

今の少年少女はわりきったドライな気持ちをもっているので、子どもの行動を見守っていき、家庭内身内、まわりから非行少年少女を出さないようお互いに努めたいものです。

## 雑誌広報委員会

### 広報及び雑誌セミナーについて

菅原辰吉君

日時 昭和60年5月18日(土)

昼食 12:00～13:00

セミナー 13:00～15:00

13:00

「ロータリー広報活動と雑誌について」

講師 友地区委員，地区広報委員

奥山源内君

ロータリーの友地区委員として雑誌委員長に知っておきたい事をお話する。

ロータリーの友の中で、雑誌委員長に毎月1回読んでもらいたい事をお知らせしている。従ってロータリアンにロータリーの友を紹介し、ロータリーの友を読んでもらいたい。

ロータリーの友を必読する事は定款によって定まっている。

中央にはロータリーの友委員会がありまして、地区委員は刊行、編集に当たっている。委員は1年交替ですが、地区によっては4年もつとめている所もある。33年の歴史をもっている。内容もロータリアンの投稿によるものが主である。前半は横書き、後半は縦書きである。

横書きの部分にはロータリーの行事、情報、分区、米山、ガバナー座談会、地区委員の論説等がある。

縦書きの部分にはロータリアンでない人の教養番組等がのせてある。

会費は、ロータリーの年会費の一部から200円で作っている。自分のポケットマネーで作られているものだから是非読んでもらいたい。これは日本国内のロータリアンの意思統一に必要なものである。

各種情報をコンピューターに入れたら、21世紀の後半にはライオンズクラブは衰微するだろうとのことでした。ロータリークラブには理念として企業を通じて奉仕するとあるが、この辺がライオンズクラブはあいまいである。

理念がないと行動も組織も弱体化する。100万人という人が理念を集大成し、ロータリアンの進化や多くのロータリアンの考えをまとめ、平行線にしようとする雑誌の意義は大きい。

ロータリー・モデル（ハルド・トーマス著）の紹介等があった。

14:00

「ロータリーの広報活動について」

講師 地区広報委員長 パストガバナー

黒沢茂君

4月末クラブの数は21,750、ロータリアン100万人にもう少しで達成出来る。ロータリーは会員増強

に力を入れている。これには広報活動が大事である。年々広報活動を続けて行けば会員増強につながる。

広報はクラブ外の人に働きかける。

広報はR・I広報委員会から沢山出ている。例えば手続要覧。これは後半の黄色い部分が変わらない大事なものである。

「窓を開くロータリー」これはロータリーにおける広報とは何故必要か一冊によくまとまっている。ロータリーは一般市民から遊離している。奉仕作業が認められない。そのために広報は必要なのである。ポール・ハリスの言葉に、ロータリアンだけでなく一般の人々にも手を差しのべるとある。自分の家族とか、自分の委員会に説明を加えないでいいか、自分以外の人にどれだけ伝えたか考えてくれ。広報活動には地域情報社会と一般向け情報と二分野がある。例えば地域情報社会には、例えばオーストラリアで下半身マヒの身障者のための車イスを作った例である。これは特殊である。

我々が直ぐにやれるものはロータリー財団がある。これは3Hプロ、交換学生、教育、アフリカ難民救済等多種である。これは広報の重大な活動である。

ロータリーのバッヂは大きな広報の道具となっている。

15:00

ガバナーあいさつ

斎藤利世君

広報は地域社会に奉仕活動する願いを旨く伝達させるための手段である。又、新会員を誘致するための有効な手段である。とあいさつして終った。

スマイル

三井健君 5月19日の家族会成会裡に終了したので

富樫良吉君 鶴岡建設KK本社移転されたので  
佐々木喆彦君 家族会がおいで下されたのに感謝して

加藤賢君 弟が結婚したので

布施隆夫君 家族会の折庄交バスが自分のメーカーの製品で、乗り心地が良かったのに感謝して

ビジター

鶴岡西R.C. 桜井清君・加藤重郎左エ門君  
(今週の担当者 斎藤 昭)